

2008 年サミットの関西誘致に関する要望

2006 年 1 1 月

2008 年関西サミット誘致委員会

我が国で5度目の開催となる2008年主要国首脳会議（サミット）につきましては、「関西サミット」として、首脳会合については京都または大阪で、また、関係閣僚会合は首脳会合開催地以外の京都、大阪または神戸で開催されますよう要望いたします。

2008年に日本で開催されます主要国首脳会議(サミット)は、我が国の多様な文化や伝統を世界にアピールできる絶好の機会であります。また、地球環境問題への対応や異なる文化の相互理解が課題となることも予想されます。

「関西」は、我が国経済の二大拠点の一つとして発展し、海外、特に東アジアと古くから活発な交流を行う中で、日本の政治・経済や文化の中核を形成し、現在も深いつながりを有しています。

昨年4月には、京都迎賓館が開館するとともに、本年2月には神戸空港が開港いたしました。さらに、サミット前年の2007年8月には、関西国際空港の第二滑走路が供用開始予定であるなど、首都圏の代替機能を担えるインフラも整備されつつあります。

京都、大阪、神戸・兵庫の関西三都は、会議・宿泊施設や交通ネットワークなどの充実した都市インフラはもちろんのこと、首脳同士のうちとけた対話の場の演出や万全のセキュリティ確保など、近年のサミットの特徴である「リトリート性」に十分配慮したサミットの舞台を提供できます。このような3都市が集積しているエリアはわが国でも他には見られません。

加えて、「関西」で首脳会合や関係閣僚会合を開催することは、日本の歴史・文化の原点である関西の素晴らしさを、各国首脳をはじめとした世界の皆様にご理解いただけることとなり、必ずやサミットを成功させる大きな原動力となるものと確信します。

私どもは開催地が関西のどこに決まっても互いに協力し合い、関西が一丸となってサミットの成功に向けて準備を進めてまいります。

つきましては、2008年サミットが「関西サミット」として、関西の地で開催されるよう特段のご高配をお願いいたします。

2008年関西サミット誘致委員会

会 長 秋山 喜久(関西経済連合会会長)

副会長 山田 啓二(京都府知事)

副会長 太田 房江(大阪府知事)

副会長 井戸 敏三(兵庫県知事)

委 員 酒井 国生(京都府議会議長)

委 員 梶本 頼兼(京都市長)

委 員 卷野 渡(京都市会議長)

委 員 村田 純一(京都商工会議所会頭)

委 員 北川 法夫(大阪府議会議長)

委 員 關 淳一(大阪市長)

委 員 坂井 良和(大阪市会議長)

委 員 野村 明雄(大阪商工会議所会頭)

委 員 長田 執(兵庫県議会議長)

委 員 矢田 立郎(神戸市長)

委 員 浜本りつ子(神戸市会議長)

委 員 水越 浩士(神戸商工会議所会頭)